

gekidanU 家公演企画 Vol.5 「TREE」 延期のお知らせ

一部中止になった昨年夏の野外公演/12月の家公演と、毎回こうした文書を書いてきて、その時は明朝体で劇団員一同、という形で固めのリリースを出して来たのですが、今回は1メンバーの文責で書かせていただきます。

4月29日から行う家公演企画 Vol.5 「TREE」ですが、緊急事態宣言に伴う東京都の劇場への休業要請、及び無観客開催の要請に対し、「延期」という判断をとることにしました。

延期公演は今年の10月末～11月中旬の予定です。

こうした状況にも関わらず、1週間前にして満席の85%以上のご予約をいただき、一同大変励みになりました。本当にありがとうございました。ご予約いただいていた方々には、このような結果となり、誠に申し訳ありません。

今回の延期の決定に至る理由を簡単にお話できればと思います。

我々は「無観客開催」は一切しない方針の下、民家を改造した自分達のアトリエ「アトリエ5-25-6」で作品を作っています。理由を簡単に言うと、僕らがやってることとかこだわってることって、映像で観てもなかなか伝わらないし、僕らがお客様に体験してほしいものでは全く無いからです。

南千住駅というだいたいの人が滅多に来ない駅から、商店街をまっすぐ進んだ先にある、民家のように民家じゃない不思議な空間で、ここにしかない匂いや明かりや風や音を感じてもらってこそ僕らの作品だと思っています。なので観客が入れられない時点で延期は確定でした。

そもそも対策として客席を減らして最大でも12人しか入れない公演だし、延期にしなくてもいいんじゃないか…?という観点ももちろんありました。(「社会生活の維持に必要なもの」でないのであれば演劇なんてコスパの悪いこと、わざわざやってないので)

しかし、「人流を止める」ことで解決したい(しか解決策がない情けない)現状はたしかで、そのための措置であることは理解できます。

延期する理由としてはそれと、強行することによるリスク、あとはこういう状況下でやる「しんどさ」を、皆健康だったのに世間の状況と近隣の方々

のご不安、ご意見を考慮し途中中止をした昨年の野外公演で少々味わってしまったから、
というのが大きいのかな…と思います。

と、夜のうちに書きましたが、正直朝起きて改めて「どうなんだろう…やったほうがいい
のか…?」と考えてしまってるほど、正解はないですね。コロナ禍のこの1年、
試行錯誤しつつアトリエで5,6回は公演やってますが、未だにわからないです。

ひとまず我々は我々の未来の生活を考えて、思考停止で延期するわけではない(からくれぐ
れも頼むぞ偉い人達)ということが勝手ながらわかっていただけたら幸いです。

代わりにとってはなんですが、公演するはずだった期間で
1日「無観客無配信公演」をやろうと思います。既に仕込みも終え、今日はゲネです。
そこでたくさん映像や写真を撮って、盛大に公開し、「演劇が行われていた」ことを
無料でめちゃくちゃ見せつけてやろうと思っています。

それで興味を持っていただいた方は、ぜひ延期公演におこしてください。
モチーフである樹も一回ぶっ壊して、また10月上旬から、
ボロ雑巾のような顔をしながら作り直すんだと思います。

- 今後の gekidanU 及びアトリエ 5-25-6 ですが、
- ・ Produce 公演 Vol.3 「みちとさせのおしばい」 5月21日～23日
 - ・ 吊 EXPO'21 7月末
 - ・ Produce 公演 Vol.4 10月頭
 - ・ 家公演 Vol.5 10月末
 - ・ 家公演 Vol.6 12月頭

という日程になります。ぜひぜひお気に留めください。
相変わらず精力的にやっていく予定でありますので、引き続きよろしくお願ひ致します！



gekidanU (より文責・ヒガシナオキ)